

絶滅危惧種のオキナグサが咲きました

県内では牧野植物園などごくわずかな場所でしか見ることのできないオキナグサを、北山（風車のある山。自生地であったが絶滅）と長沢の滝周辺にそれぞれ約700株、天狗荘、吉村虎太郎邸、旧白石小学校、床鍋の神社に各100株前後、それぞれの関係者の方々に植えていただき、この春たくさんの方が咲きました。

3月末～4月頃、うつむき加減のチョコレート色の花が咲き、昔はあちこちで見られたそうですが、今では県内の野生のものはごくわずかのようです。

スイスの山岳にはセイヨウオキナグサという種類があり、水色や黄色の花が観光客を楽しませていますが、オキナグサはその仲間です。以前、この地域に自生していた株を町内の方が栽培しており、種を分けていただき繁殖させました。

これだけの規模でオキナグサの花が見られる場所は近くには無く、たくさんの方に楽しんでいただけたと思いますし、種が飛散することで、昔のように普通に見られる花になることを願っています。

津野町には、このほかにもカザグルマ、ヒメユリ、ササユリ、トサジョウロウホトトギス、オオヤマレンゲなどの自生種や、町境に自生するキレンゲショウマ、かつて自生があったと思われるクリンソウなど、美しい花を咲かせる貴重な植物がたくさんあり、またクロタ

キカズラのように、牧野富太郎が1892年に天狗の森の東側にある黒滝山で採集し、地名を付けた植物もあります。

現在、これらの種を分けていただいて増殖に取り組んでおり、うまく育てば、地域の方がたの協力を得ながら今後も町内各地に植えていく予定です。

こうした取り組みを地域で一緒にやってみようという方は、津野町産業課里山再生アドバイザー横山までご連絡ください。

産業課



オキナグサ（虎太郎邸）



オキナグサ(風の里公園 地元住民の方による植栽)

《SSWのつぶやき》 何でも前向きに

以前聞いた話です。『昔二人のくつ屋さんがいて、くつをたくさん売ろうと思って遠くの国へ出かけました。ところが驚いたことに、その国の人にはくつをはく習慣がなく、みんなはだして生活をしていました。それを見てAというくつ屋さんは「ああこれはだめだ。みんなくつをはかない生活だからくつが売れるはずがない」と思い自分の国へ帰ってしまいました。一方、Bというくつ屋さんは「これは最高の国へ来たぞ。みんなまだくつをはいていないのだからたくさん売れる」と言ってその国にとどまりました。』さて、みなさんはどちらの考えに近いでしょうか。

また、こんな話もあります。『ある重い病気になったAさんがお医者さまから「あなたの命はあと3年です」と言われ、それを聞いて「えっ、たった3年しか生きられない」のかとがっかりしました。一方Bさんは「まだ3年も生きられる」と喜びました。』AさんとBさんのどちらが長生きしたのでしょうか。そうです。「まだ3年も生きられる」と喜んだBさんはその後6年も生きましたそうです。

何かうまくいかなかったりいやなことがあった時でも、神様が私を成長させようと思ってこの状態にしている、と思い前向きにとらえてがんばってみるといいですね。

【相談室】

かわうそ図書館 2階

火・金曜の午前9時30分～午後4時30分

☎080-8635-3372

津野町教育委員会
SSW (スクール・ソーシャル・ワーカー) 久寿義人

